

令和3年度 社会福祉法人さくらんぼ 事業報告

令和3年度は、新型コロナによる影響は、時折、PCR検査を受ける利用者等があり、一時的に事業所を閉所することがありましたが、一昨年のような大きな影響はなく、下半期からは例年とほぼ同じような活動ができました。また、状況の変化に応じて閉所基準等を見直しました。

1. 積立

【今年度の計画】

利用者確保に必要な方策を考え実行する。併せて、利用者確保により事業収入を増やすとともに、支出削減にも努め、可能な限り、計画実現に向けて積み立てを行う。

【今年度の状況】

B型事業所の平均利用者数は当初の目標を下回ったが、報酬の加算状況に変更があり、当初の予算額よりも収入が増えたこと、相談支援事業所とB型事業所及び地域活動支援センターの協力で計画相談や自立生活援助の支援数が増えたこと、また不作為ではあるが、職員採用が遅くなり、人件費が下がったことなどの理由から、法人全体としては黒字となり、また当初予算にはなかった積立も行うことができた。

2. 事業Ⅰ（現存の事業について）

【今年度の計画】

さくら工房は昨年度の改装工事を活かし、より一層利用者確保に努める。併せて、風の谷もさくら工房とともに利用者確保に取り組み、ともに単独で安定した運営ができる道筋を立てる。

【今年度の状況】

様々な形で広報し利用者募集に努めたが、思うように利用者確保はできなかった。一方で、就職や死亡等による退所はあり、平均利用者数が当初の目標を下回った。ただし、下半期から現状踏まえて変更した目標はほぼ達成できた。

また、今後の単独運営が可能な人員配置について検討し、次年度からの人員配置を変更することとした。

3. 事業Ⅱ（新事業について）

【今年度の計画】

昨年9月から事業を開始した自立生活援助事業については、法人内での役割分担等の運営体制を整え、スムーズに利用者支援が行えるように努める。

【今年度の状況】

自立生活援助は、常に支援できる体制が必要なため、当法人のB型・地活を利用しての方については、その事業所を支援の中心とした。また下半期には相談支援事業に非常勤職員を採用し、法人内の計画相談を相談支援事業所が担当する方向で進めている。

4. 人事・人材育成

【今年度の計画】

今後の計画に沿って、それぞれの事業所で人事異動に向けた人材育成を行う。

【今年度の状況】

- ・人材育成はほぼ計画通り進んだが、自己都合での退職を希望する職員もあり、中長期での計画を立てることが難しい現状がある。
- ・さくら工房で年度当初から募集していた常勤職員1名がなかなか決まらなかったこともあり、9月末に非常勤職員1名を採用（元職員・令和4年3月末まで）し、何とか間を繋いだ。その後11月上旬になって、ようやく常勤職員が採用できた。
- ・エアー企画には非常勤の作業補助員として学生を1名、サポートセンターさくらには計画相談補助の非常勤職員を1名採用した（ともに令和4年3月末まで）。
- ・今後も、学生等の非常勤・アルバイトを活用しながら、効率の良い運営を考える必要がある。

5. 物件、6. 新たな取組み

【今年度の状況】

いずれも検討していない。

7. 15周年記念行事

【今年度の状況】

新型コロナの影響が続いており、現状では実施は困難と考え、15周年ではなく、20周年を迎える時期に開催する方向で進めることにした。

令和3年度 就労継続支援B型事業所 デザイン工房エアー企画 事業報告

1. 利用者の状況 ◆今年度目標利用者数：17.75名 ◆昨年度実績…平均利用者数：17.1名 ◆昨年度延べ利用者数：4,231名 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	29	
延べ利用者数	422	384	402	371	356	361	378	365	345	319	304	349	4,356
開所日数	22	21	22	21	20	21	22	21	21	20	19	23	253
平均利用者数	19.2	18.3	18.3	17.7	17.8	17.1	17.1	17.2	16.4	16.0	15.2	15.1	17.2
目標達成率	108.1%	103.0%	103.0%	99.7%	100.2%	96.3%	96.3%	96.9%	92.3%	90.1%	85.6%	85.0%	97.7%

2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度作業収入：2,164,104円 ◆昨年度工賃支払実績…2,079,927円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職	193,578	130,740	204,441	166,233	108,128	251,126	175,652	198,628	235,450	107,739	120,392	149,143	2,041,250
印刷	0	925	4,560	0	0	0	0	0	10,340	0	0	60,340	76,165
資源回収	2,904	1,396	2,292	2,388	2,572	2,472	3,088	2,752	2,996	1,516	2,380	4,046	30,802
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,080	22,080
作業収入合計	196,482	133,061	211,293	168,621	110,700	253,598	178,740	201,380	248,786	109,255	122,772	235,609	2,170,297
支払総合計	190,036	128,408	206,456	166,808	105,723	247,896	174,269	187,054	230,367	107,759	121,672	222,216	2,088,664

○内職：箱折、建具組立、部品袋詰等

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…内職：182.9円、資源回収：230.8円、資源荷出：46.8円、平均工賃：7,536円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職単価	169	128	205	174	109	255	168	201	272	123	144	228	181.3
資源回収単価	181	87	229	199	214	206	308	229	299	126	238	404	226.7
資源荷出単価	34	24	30	32	44	49	53	37	74	32	38	80	43.9
工賃支払人数	26	25	26	25	24	24	24	22	22	22	22	22	284
平均工賃	7,309	5,136	7,941	6,672	4,405	10,329	7,261	8,502	10,471	4,898	5,531	10,101	7,380
最高工賃	15,104	9,344	17,430	14,588	9,066	21,214	13,764	17,052	19,670	9,877	11,212	22,332	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業
4月		【内職】 部品の検品、箱折り、DM封入、タオル畳みなど 【印刷】 尼崎西家族会、さくらんぼを支援する会、疾病対策課 社会福祉法人 むぎのめ 【資源回収】 月曜日：回収、火曜日：荷出 （新聞、ダンボール、古着、アルミ缶等）
5月		
6月		
7月		
8月	※そのわ夏祭り中止	
9月	11日 PCR検査者がでたため午後閉所 ※園田カーニバル中止	
10月	7日 防災訓練	
11月	1日 PCR検査者がでたため午前のみ閉所 ※ミーツ・ザ・福祉は開催時期・内容が変更になり不参加	
12月	27日 大掃除 28日 忘年会	通年で行っている支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同行支援 70回 （健康診断、携帯ショップ、警察署、企業見学 銀行、買い物、北部保健センター、ハローワーク、市役所など） ・ 同伴受診 64回（精神科、内科、整形外科など、入退院含む） ・ 訪問 186回（施設居住者の面会 含） ※F氏：全ての面で自己管理が難しい為、訪問を要する頻度が多い ・ 家族面談 4回 ・ カンファレンス 6回 ・ エアー企画 OB面談 2回
R4.1月		実習生受入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸医療福祉専門学校中央校（精神保健福祉士） ・ 武庫川女子大学（精神保健福祉士） ・ 神戸女子大学（精神保健福祉士） ・ 大阪樟蔭女子大学（精神保健福祉士） ・ 関西保育福祉専門学校（精神保健福祉士） ・ 尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護師） ・ 園田学園女子大学（看護師） ・ 甲南女子大学（看護師）
2月		
3月	28日 防災訓練	

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		上半期の課題	取り組みと今後
個別の作成支援計画	1	職員配置が変わるので、遅延なくスケジュール管理を行う。	マンパワー不足で事務を行う時間の確保に課題があり、作成が少し遅れることがあった。
就職支援の機会提供	2	利用者が安全かつ自主的に作業できるように、作業場を整理する。	利用者が自主的に動けるよう、環境整備を意識して取り組むことができている。しかし、今年度から新たに作業の取引企業が増え、フロアレイアウトを変更するなど対応している。
て、ま知 に、つ識 向、就た・能 け、労者力 た、への 支、の 援、移 行、い	3	異動してきた職員に対し、就労支援のスキルを身につけられるよう育成する。	上半期同様、就労ネットワーク会議に参加させ、他事業所と連携できる機会を設けた。また下半期にチャレンジ事業に参加する利用者がいたため、主担として関わらせた。
生活相談、健康管理	4	どの職員も支援状況を把握する	3年目の職員は上半期で重点目標を達成することが難しいと判断したため、下半期は重点目標を変更したが、その職員は支援状況を把握することも難しく達成できなかった。
	5	エアー企画として見通しを立て支援をする。	職員間で話し合う時間を持ち、見通しや方向性を確認しながらできた。

令和3年度 就労継続支援B型事業所 さくら工房 事業報告

1. 利用者の状況 ◆今年度目標利用者数：11.2名 ◆昨年度実績…平均利用者数：9.2名 ◆昨年度延べ利用者数：2,325名 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	23	23	23	22	22	21	21	21	21	21	23	23	
延べ利用者数	257	234	256	226	219	237	207	206	217	166	191	223	2,639
開所日数	22	21	22	21	20	21	22	21	21	18	19	22	250
平均利用者数	11.7	11.1	11.6	10.8	11.0	11.3	9.4	9.8	10.3	9.2	10.1	10.1	10.6
目標達成率	104.3%	99.5%	103.9%	96.1%	97.8%	100.8%	84.0%	87.6%	92.3%	82.3%	89.8%	90.5%	94.3%

2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度作業収入：615,532円 ◆昨年度工賃支払い実績：558,824円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 職	10,187	6,192	6,090	6,440	7,844	14,412	12,522	16,970	10,908	6,512	7,430	8,230	113,737
バザ	48,070	36,270	47,760	38,090	40,680	29,310	69,970	82,890	42,015	37,470	48,855	50,585	571,965
資源回収	726	349	573	597	643	618	772	688	749	379	595	449	7,138
その他	0	0	0	0	0	5,034	18,350	14,500	47,400	2,750	0	15,520	103,554
作業収入合計	58,983	42,811	54,423	45,127	49,167	49,374	101,614	115,048	101,072	47,111	56,880	74,784	796,394
支払総合計	58,726	42,260	54,260	44,880	49,162	49,070	93,541	106,818	82,800	46,369	56,805	71,543	756,234

○その他：みかん販売等

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…時間単価：229.3円 平均工賃：4,252円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 職 単 価	169	168	179	160	158	153	333	369	262	159	151	261	210.2
工賃支払人数	18	15	16	13	17	14	14	13	13	12	15	16	176
平均工賃	1,608	2,817	3,391	3,452	2,892	3,505	6,682	8,217	6,900	3,567	3,787	4,471	4,274
最高工賃	9,682	8,200	10,328	8,380	10,504	9,096	14,787	17,298	13,235	10,462	14,289	11,862	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業
4月		【内職】 シフォンケーキ型、クリアカップ、ワッシャー取り付け等
5月	8日 ビンゴ大会 22日 お楽しみ会	【バザー】 接客、清掃、商品の仕分け等
6月		【販売】 みかん等季節の物
7月	10日 かき氷レク	【資源回収】 月曜日：回収 （新聞、ダンボール、古着、アルミ缶等）
8月	27日 お楽しみ祭り	【作業以外】 歌の会（6回） 昼食会（新型コロナウイルスの影響で今年度開催せず） ラポール会議（月1回）
9月	※園田カーニバル中止	通年で行っている支援
10月	21日 消防訓練	・同行支援 75回 （買い物、銀行、健康診断等）
11月	13日 パンケーキレク ※園田西子ども会祭り、きずなちゃん祭り中止 ※チューリップ販売中止	・同伴受診 15回（精神科、内科等） ・自宅訪問 31回 ・病院面会 1回 ・カンファレンス 10回
12月	23日 たこ焼きレク 28日 茶話会	・服薬管理 1名 ・金銭管理 4名 ・社会福祉協議会同席 24回 ・保佐人同席 7回
R4.1月	13～14日 コロナの濃厚接触者が出たため閉所	実習生受入
2月		・神戸医療福祉専門学校中央校（精神保健福祉士） ・大阪樟蔭女子大学（精神保健福祉士） ・関西保育福祉専門学校（精神保健福祉士） ・尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護師） ・園田学園女子大学（看護師） ・甲南女子大学（看護師）
3月	10日 コロナの濃厚接触者が出たため閉所 11日 PCR検査の結果が出たため、午後から開所 18日 防災訓練 31日 お花見レク	

4. 上半期の課題への取り組みと今後

	重要項目	取り組みと今後
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成において担当制を取り入れ、本人の思いをしっかりとみ取れる面談を行い個別支援計画に反映できるよう職員を指導します。	11月まで求人をしてきた職員が決まらなかったことに加え、10月より職員1名が体調を崩し休んだこともあり、担当制を取り入れることが困難だった。 今後、新人職員には個別支援計画の面談に同席させ、一緒に作成するなど育成を行う。中堅職員に対しては利用者理解とニーズについてしっかり話し合い本人の思いが反映できるよう育成する。
就労の機会及び生産活動の提供	工賃アップを目指しバザーの売り上げを伸ばすために、利用者と一緒にバザー品のレイアウト等店舗部分の工夫とバザー品の在庫管理がスムーズに行えるよう工夫する。	バザーの店番を1名の専任作業にして行うことで、内職作業が苦手な利用者も作業に参加できるようになった。 事業所の改装に伴い、店舗部分が独立して見やすくなったことや商品管理を徹底することで、衣類などの季節を先取りした商品展示ができ、売り上げを昨年より大きく伸ばせた。 今後の課題は、日々入荷する商品管理をどのように行うかだと考えている。
生活相談、健康管理	利用者の高齢化など利用者それぞれの持つ課題に対して先を見通した支援が出来るように取り組む。	日常の支援の中で、高齢ということを常に意識し、些細な変化にも気づけるように支援した。前立腺肥大や腰痛など年齢を重ねることで起こる病気を把握し、適宜受診を促したり、必要な時は同伴受診したりすることで、病状について利用者に理解できるように説明し、治療に取り組むよう助言ができた。 今後も引き続き、先を見通した支援に取り組む。

令和3年度 就労継続支援B型事業所 風の谷 事業報告

1. 利用者の状況 ◆今年度目標利用者数：6.2名 ◆昨年度平均利用者数：6.0名 ◆昨年度延べ利用者数：1,506名 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
延べ利用者数	142	133	146	132	119	118	134	131	126	115	112	138	1,546
開所日数	22	21	22	21	20	21	22	20	20	20	19	21	249
平均利用者数	6.5	6.3	6.6	6.3	5.9	5.6	6.0	6.2	6.3	5.8	5.9	6.3	6.1
目標達成率	108%	105%	110%	105%	98%	93%	100%	103%	105%	97%	98%	105%	101.6%

2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度作業収入：1,267,680円 ◆昨年度工賃支払実績：792,852円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
店舗売上	141,300	84,750	120,550	109,000	89,050	105,100	109,950	107,500	104,600	87,050	107,650	122,350	1,288,850
出張販売	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	141,300	84,750	120,550	109,000	89,050	105,100	109,950	107,500	104,600	87,050	107,650	122,350	1,288,850
支払総合計	93,310	46,830	78,941	71,133	52,246	66,783	67,881	65,696	61,790	50,874	67,858	71,893	795,235

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…時間単価：358.9円、平均工賃：7,143円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間単価	434	229	341	362	302	394	315	307	321	278	377	349	334.1
支払人数	11	11	11	11	10	10	10	10	10	9	9	9	121
平均工賃	8,483	4,257	7,176	6,467	5,225	6,678	6,788	6,570	6,179	5,653	7,540	7,988	6,572
最高工賃	17,360	8,473	14,322	13,032	10,570	13,396	12,915	11,819	11,235	10,008	12,629	11,866	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業	
4月	10日 花見レク 参加者6名	<ul style="list-style-type: none"> ・調理作業 ・接客作業 ・カレーデリバリー（事業所内・月2回） ・弁当・おにぎり販売（本部建屋のみ 週2回） ・外部販売：カレー販売 （きずなちゃん、雪まつり、水辺まつり前日、ミニ収穫祭） 	
5月	5日 店舗飾り作り 参加者7 8日 研究開発 参加者5名 22日 ヨガ 参加者6名		
6月			
7月	10日 パンケーキ作り 参加者4名		
8月	7日 ビンゴゲーム 参加者3名		
9月	3日 毎週金曜日カレーのテイクアウト開始 11日 副菜作り 参加者4名		<p style="text-align: center;">通年で行っている支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同行支援 14回 ・同伴受診 32回 ・自宅訪問 25回 ・区分認定調査同席 2回 ・カンファレンス 9回
10月	9日 防災訓練・茶話会 参加者4名		
11月	1日 PCR検査対象者が出たため閉所 13日 研究開発 参加者5名		
12月	2日 PCR検査対象者が出たため閉所 11日 大掃除1回目 参加者6名 24日 営業最終日 27日 大掃除2回目 参加者6名 28日 忘年会 参加者7名		
R4.1月	15日 勉強会 参加者6名	<p style="text-align: center;">実習生受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪樟蔭女子大学（精神保健福祉士） ・神戸医療福祉専門学校中央校（精神保健福祉士） ・園田学園女子大学（看護師） ・甲南女子大学（看護師） ・尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護師） 	
2月	19日 米・味噌の見直し 参加者3名 ※カレーテイクアウトを毎週金曜日から毎日に変更		
3月	2日・10日 PCR検査対象者が出たため閉所 11日 朝にPCR検査の結果が出たため、B班から作業開始		

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		重点目標	1年間の取り組み
個別支援計画の作成	1	<p>5年目の職員は全体を把握できるように視野を広げ支援の組み立てをし、自ら判断し積極的に利用者支援ができるように育成する。</p> <p>3年目の職員は各関係機関との連携が取れるようになることと、利用者主体の支援について理解を深められるように育成する。</p>	<p>5年目の職員は、全体把握ができていない部分があるため、自ら判断し動くということに時間がかかった。そのため、自ら考えて動くよう指示し、困ったときなどには相談に乗ってきた。そうすることで、自ら判断し、支援の組み立てを行い、積極的に動けるようになってきた。</p> <p>3年目の職員は、どの段階で関係機関との連携を取ればいいのか判断できない部分があり、まだ指示が必要な状態である。時間を作って、どのように動いたらいいか、対応についての意味など伝えるようにしてきた。また、夕方の時間を使い、5年目の職員と一緒に利用者主体の支援についてケースを用いて話をしてきたことで、対応について考え、実践するようになった。</p>
就労の機会及び生産活動の機会の提供	1	<p>引き続き、新規利用者が入りやすいような時間設定や作業内容など考えていくと共に、各職員が意識し、利用者確保に努める。</p>	<p>問い合わせがあれば、作業時間に関しては配慮できることを伝えたが、見学には至らないことが多かった。</p> <p>また、見学に来た方には、分かりやすく、苦手意識を持たないように説明したが、利用には繋がらないことが多かった。</p> <p>市内のデイケアやクリニックなどに出向き、事業所の説明と利用者を募集していることを伝えた。また、現利用者が利用している訪問看護やヘルパー事業所にも、同様のことを行った。</p>

令和3年度 相談支援事業所 サポートセンターさくら 事業報告

1. 利用者の状況

A) 委託相談支援業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	21/24	18/24	21/26	14/27	21/24	20/26	13/23	14/26	14/28	14/28	13/28	18/30
会議等※	2	4	2	6	4	3	1	8	3	5	4	5

・委託/計画・地域移行・地域定着・自立生活援助

※尼崎市障害者自立支援協議会等（注1）運営部会議、あまがさき相談支援事業所連絡会（あま相）、精神障害者地域移行・定着支援協議会 等

B) C) 指定特定・指定一般相談支援業務（年間目標：計画：84名 モニタリング：156名 地域移行：24名 自立生活援助：24名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
① 計画相談	11/13	3/15	9/22	4/11	6/17	3/17	7/18	5/16	4/19	5/12	5/19	11/16	73/195
② 地域移行	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
③ 地域定着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 自立生活援助	2	2	5	5	5	4	4	3	2	2	4	3	41

・計画/モニタリング（どちらも他市分含む）

2. 現状と課題

A) 委託相談支援業務

<状況>

- ・個別相談の新規受け入れは1年を通して9件で、そのうち計画相談につながったのは1件（計画相談希望は受け付けていないため）。
- ・コロナ2年目となり、リモートでの会議も増えた。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
尼崎市におけるピアサポーターの育成、活用システムを、尼崎市疾病対策課とポルタと共に考えて運用していく。	ピアサポーターの登録制度を作り、同時に初めて公募でピアサポーター養成研修を行い、登録希望者を募った。次年度に運用が開始する。
引き続き「地域移行・地域定着支援事業（地域啓発・人材育成業務）」等を受託し、尼崎市疾病対策課とポルタと共に、「精神障害者の地域包括ケアシステム」構築の役割を担う	事業の仕様に従って、グループホーム職員等に向けての研修や、ピアサポーターを活用した啓発を行った。また、「精神障害者の地域包括ケアシステム」構築会議についても、疾病対策課とポルタと共に考え、会議前の当事者・家族に向けた研修も行った。

B) 計画相談について

<状況>

- ・各事業所の担当者の作成事務がスムーズになっている。今後は、添付する必要書類の記入の仕方などの研修が必要かと思われる。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
法人全体の計画相談の位置づけや、相談支援事業所と通所事業所の業務分担などを考える	相談業務で重要なポイントについて、法人内での協力職員に向け説明やマニュアルを作成し、進捗管理のため定期的に点検・お知らせをした。
計画相談の業務の流れを整理し、人員配置などを考慮して、効率的に必要な計画相談を受けられる体制を検討・整備する。	9月から非常勤職員を採用し、エアー企画の計画から引継ぎをしている。今後できるだけ法人内の計画相談を担当できるよう整備する。

C) 地域移行・定着支援について

<状況>

- ・面会に行けない、外出させてもらえない病院が多い中で、地域移行の具体的な動きが難しい。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
「精神障害者の地域包括ケアシステム」の構築を通して、地域移行が進むように、医療機関等に働きかける。	A)にあるように、会議等には協力したが、今年度は医療機関等には働きかけはしなかった。

D) その他

<状況>

- ・あまかれん（尼崎市精神福祉家族会連合会）は、単会の会長交代があるが、役員会に運営委員として元会長に残ってもらうなど工夫されており、会議の進行やレジュメ作成も会長が担っておられる。

重要項目	取り組みと今後
あまかれん（尼崎市精神福祉家族会連合会）の50周年の事業等を支援し、今後のあまかれんへの職員支援について相談する。	コロナ感染の状況から、50周年の事業を中止したため、職員支援について具体的な話はしていない。

令和3年度 地域活動支援センター ファレ「モナモナ」 事業報告

1. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初日通所人員	25	21	22	19	19	23	23	20	22	19	19	21	253
開所日数	21	21	22	21	20	21	22	21	21	20	19	21	250
夕食提供日	18	15	18	16	15	16	17	15	15	15	14	15	189
夕食利用者平均	4.0	3.9	3.7	3.5	3.9	4.3	3.7	3.8	3.4	3.6	3.6	2.8	3.7

2. 現状と課題

①生活支援

<状況>

- ・土曜開所の午前中に施設運営についてのすり合わせを職員間で行った。プログラムの開催目的や内容検討、加え、アセスメント表を活用し、利用者理解を深めながら、個別支援に繋げることができた。また、2、3ヶ月に1度、全利用者の支援状況を確認した。

②個別支援

<状況>

- ・必要に応じて面談、生活相談、健康管理を行った。また、利用者の身体的訴え等に合わせ同伴受診も行った。

■重点目標と1年間の取り組み

重要項目	取り組みと今後
支援においてアセスメント表を用いることで利用者のニーズ、目的を明らかにしてそれを職員間の共通認識としての支援に繋げていく。	土曜開所の午前中に行うことができた。それぞれの視点で利用者理解が深められ、ひとりひとりへの対応の工夫なども話し合うことができ、効果的であった。

③生活トレーニング

<状況>

- ・土曜開所日の午前中に職員全員で、プログラムの開催目的や内容検討した。以前ニーズがあったものでも参加者数が減ったものについては、

第1号議案（事業報告）

目的を確認しプログラムの仕方を変えたり、回数を変えたりと工夫しながら、利用者からの反応に準じて、毎月プログラム編成を行った。

- ・朝のミーティングの後に声を出すという目的で歌を歌っていたが、歌詞カードを眺めるだけの月も多く、今年度で終了し、代わりに来年度からはさくら工房で行っていた歌の会を実施する。

④夕食提供

<状況>

- ・新型コロナの感染予防対策として、一昨年の6月からプラスチック容器での提供をしており、もしばらくはこの提供方法を続ける。

